

学園創立100周年を迎えて

仙台育英学園100周年を記念するNYSEと秀光オーケストラ部、秀光混声合唱団によるジョイントコンサートが宮城県民会館を会場に開催され、「学園の苦難の歴史」「学園の輝ける未来と展望」を表現する演奏に1500名を超える観客から盛大な拍手が送られた。

学園創立100周年記念 NYSE ジョイントコンサート

7月11日、NYSE（ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル）と本学園・秀光オーケストラおよび合唱団とのジョイントコンサートが開催された。1998年から続けられ、今回で9回目。特に今回は「学園創立100周年」を記念し、宮城県民会館を会場として盛大に開催された。一般の入場者に加えて学園卒業生、学校関係者、保護者など多くの方々にご来場いただき、約1500席の会場は超満員となった。

コンサートの内容は「100周年記念」ならではのもので、曲ごとにテーマを設け、



▲ 創立100周年記念 NYSE ジョイントコンサート

『弦楽のためのアダージョ』では学園100年の歴史を築いた人々への報恩と追悼の思いを込め、2曲目の『レクイエム』からは前年5月22日の交通事故で亡くなった3人の生徒への冥福を祈るものであった。『フィンランディア』ではステージ両脇に設置したスクリーンにこれまでの学園の姿を映しながら「苦難と克服の100年」を振り返るなど“100周年”を象徴する素晴らしいステージとなった。終盤には、会場が一つになって校歌を斉唱し、歓喜の歌声が会場いっぱい響きわたった。

全国高等学校総合体育大会 快挙 卓球女子団体3年連続優勝

8月4日から11日まで、千葉県で開催された全国高等学校総合体育大会で女子卓球部が団体優勝を果たし、インターハイ団体3年連続優勝の快挙を成し遂げた。その他にも、全国高等学校卓球選手権大会女子団体優勝、国民体育大会女子団体第2位、全日本卓球選手権大会女子団体第3位など、秀光女子卓球部の実力を全国に示した。

▼ 女子卓球部 集合！



快挙に至る女子卓球部の努力のあとが、生徒会誌「櫂」第3号の部活紹介の次の文章から読みとることができる。

「私たち女子卓球部は、グローリーホールの1階にあるチャンピオンズルームで練習に励んでいます。年間千時間の練習のために1日約4時間～5時間やっています。大岡先生、多津子先生、中国からのコーチの先生が2名、そして選手17名の合わせて21名で日本一そして世界で活躍することを目指して活動しています。私たちは今年のインターハイで団体優勝し、三連覇を達成することができました。これからは、春の選抜で三連覇そして来年のインターハイで四連覇を目指して頑張っていきます。」

秀光この1年

【秀光中等教育学校】生徒数（学級数）

1年	男62名 女51名	計113名(4)
2年	男37名 女43名	計80名(3)
3年	男26名 女41名	計67名(2)
4年	男24名 女31名	計55名(2)
5年	男19名 女34名	計53名(2)
6年	男24名 女24名	計48名(2)
総数	男192名 女224名	計416名(15)
教職員数	51名	

1年のあゆみ

18・4・4	平成18年度秀光中等教育学校第4回入学式 1年 新入生ニューライフプラン（～6日）
18・4・27	1～6年 梅田川清掃奉仕活動
18・5・21	第5回 スポーツチャレンジ
18・5・22	1-Lion Day メモリアルストーン除幕式・安全と安寧のつどい
18・7・11	創立100周年記念 NYSE ジョイントコンサート
18・7・26	1・2年 グリーンスクール（裏磐梯 ～28日）
18・9・7	3年 ユーロスクール出発（～23日）
18・10・18	第3回球技大会
18・12・15	校内合唱コンクール（多賀城市文化センター）
18・12・16	第11回秀光祭（多賀城市文化センター）
19・1・10	平成19年度入学者仙台選抜試験
19・1・14	平成19年度入学者要学生採用試験
19・2・7	平成19年度入学者東京選抜入学試験

19・2・9	4・5年 スキースクール（山形蔵王）
19・2・13	1・2年 スノースクール（安比高原 ～16日）
19・2・27	平成18年度秀光中等教育学校第4回卒業式
19・3・7	平成18年度秀光中等教育学校前期課程修了式
19・3・16	平成18年度修了式
19・3・22	4年 京都研修（～26日）

秀光生の活躍

- 全国中学校高等学校チームライフル射撃競技大会
中学男子の部 3位 3年 関本祐紀
中学女子の部 優勝 3年 荘司みずき、3位 3年 今野瞳
- 宮城県高等学校総合体育大会
卓球 女子団体 優勝
女子ダブルス 優勝 6年 阿部奈々・6年 松本 郁
女子シングルス 優勝 6年 王 曼
- 東北高等学校総合体育大会
卓球 女子団体 優勝
女子ダブルス 優勝 6年 照井萌美・6年 石垣優香
女子シングルス 優勝 6年 王 曼
- 宮城県中学校総合体育大会
卓球 男子団体 優勝
- 東北地区中学校総合体育大会
卓球 男子団体 準優勝
- 全国高等学校総合体育大会
卓球 女子団体 優勝（3連覇）
- 地球環境青少年会議参加 5年 戸ヶ瀬玲奈・蒲生慶都

2006/2007

高等学校生徒理科研究発表会

研究の楽しさを実感しました

筆者を始めとする6期生の石森啓太、榊原孝治、畠山友梨子のグループは東海林先生のご指導の下、マイクロ波を用いて磁性体および蛍光体を合成するという研究を半年近く行いました。そしてその成果を高等学校生徒理科研究発表会（仙台）および第8回化学工学会学生発表会（一関大会）にて発表し、奨励賞を受賞しました。

その際、東北大学大学院工学研究科の滝澤博胤先生には試料の提供や詳しい解析、研究を進めるうえでのご助言等大変お世話になりました。

奨励賞を頂いた時は自分たちの努力が報われたことを喜ぶと共に、研究の楽しさを深く実感しました。現在在籍している理系秀光生の皆さん、このような機会を与えられた時には積極的に参加し取り組んでほしいと思います。きっといい経験となり、将来の役に立つことでしょう！！

6期生 穴戸 龍之介



全国中学・高等学校チームライフル射撃競技大会に出場して

秀光で出会った射撃、現在も続けています

私が射撃を始めたきっかけとなったのは当時の担任教師の一言でした。その時私は中学二年生で、既に所属していた弓道部では地区予選の大会で他校からの圧倒的な力の差を見せつけられており、そこで優勝するのは難しい話でありました。そんな時の射撃部からの誘いは、開催地は岐阜県の全国大会への出場で、二つ返事で出場したいですと答えました。そして練習を重ね、試合当日。多くの高校生と中学生を交えた試合で私は中学生の部で2位になりました。生まれて初めての表彰、賞状、メダル。そして、翌年の同じ試合で初めての優勝を遂げました。私は射撃の楽しさと、自分自身への自信がついたことを実感しました。その後、私は卒業まで射撃を続け、大学も推薦で射撃部に入り、現在も続けております。射撃を通して学んだことは射撃の技術だけではなく、支えてくれた仲間や先生がいて初めて自分の進むべき道がわかり、今の自分があるのだと思います。

9期生 荘司 みずき

あのことき

100周年記念 NYSE ジョイントコンサートの思い出

秀光中等教育学校オーケストラ部顧問 牛渡 純

NYSEと高原守先生は生徒たちの演奏技術が未熟だった時代から、共演していただき、この年で8年目。「NYSEがこの記念コンサートで演奏できることは大変名誉なこと」と積極的にご協力いただき、共に準備を進めてきました。しかしこの記念コンサートは例年行ってきた演奏会とは比較できないほど、大掛かりであり学校内の全教職員のご協力とたくさんのお出演生徒の音楽の力と若いエネルギーによって創りあげることができました。

合唱生徒たちが長時間地下通路で冬の制服で出番を待つ元気がいっばいの笑顔、オーケストラ部部长だった大山りかさんが状況にのまらず、他の部員と協力しながら的確な指示を出していた様子など今でも忘れられません。

演奏会構成にあたり、加藤雄彦校長先生、大宮司光生先生、曾我道雄先生からのご指導、ご助言をいただきながら、「学園に尽力して下さった方々への追悼」「学園の苦難の歴史」「学園の輝ける未来と展望」を表現する選曲に知恵を絞ったこともなつかしい思い出です。

*牛渡純先生は、開校当時から音楽主任、オーケストラ部創部以来の顧問として秀光の音楽教育に貢献されました。

- 第5回鳳凰杯全国中学校英語スピーチコンテスト（A部門）3年 石垣摩衣 入選・最終審査会出場（B部門）2年 水津枝理 入選・最終審査会出場
- 宮城県高等学校生徒理科研究発表会
優秀賞 6年 穴戸龍之介、畠山友梨子、榊原孝治、石森啓太
「マイクロ波による磁性体及び蛍光体の合成」
6年 熱海悠子「ヒトヘモグロビンβ鎖のDNA MUSICの試み」
- 第9回化学工学会学生発表会（東京大会）
奨励賞 5年 荘司真人、谷口智洋
「色素増感型太陽電池の作成とその機能について」
- 第60回宮城県小・中学校書き初め展審査会
〈毛筆の部〉特選 3年 川上裕子
〈硬筆の部〉特選 1年 千葉優子 3年 川上裕子



◀ 2006年ドバイで開催されたGlobal Environmental Convention会場での発表風景